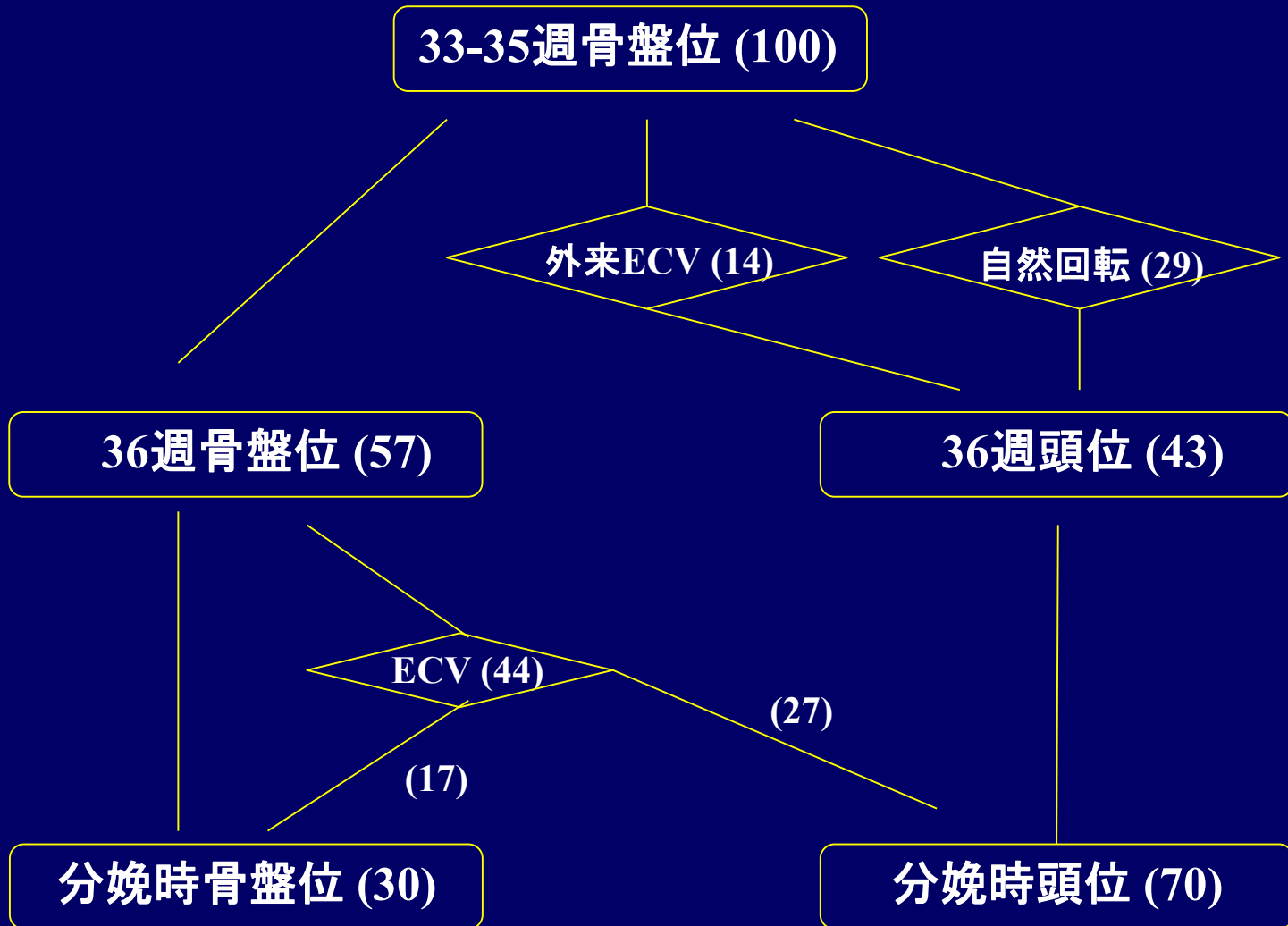


36週未満の骨盤位外回転は 許容できるか？

神崎レディースクリニック
神崎 徹、福田裕償、八木千賀

平成26年6月22日
兵庫県産婦人科学会

前半の成績



外来ECVの要約

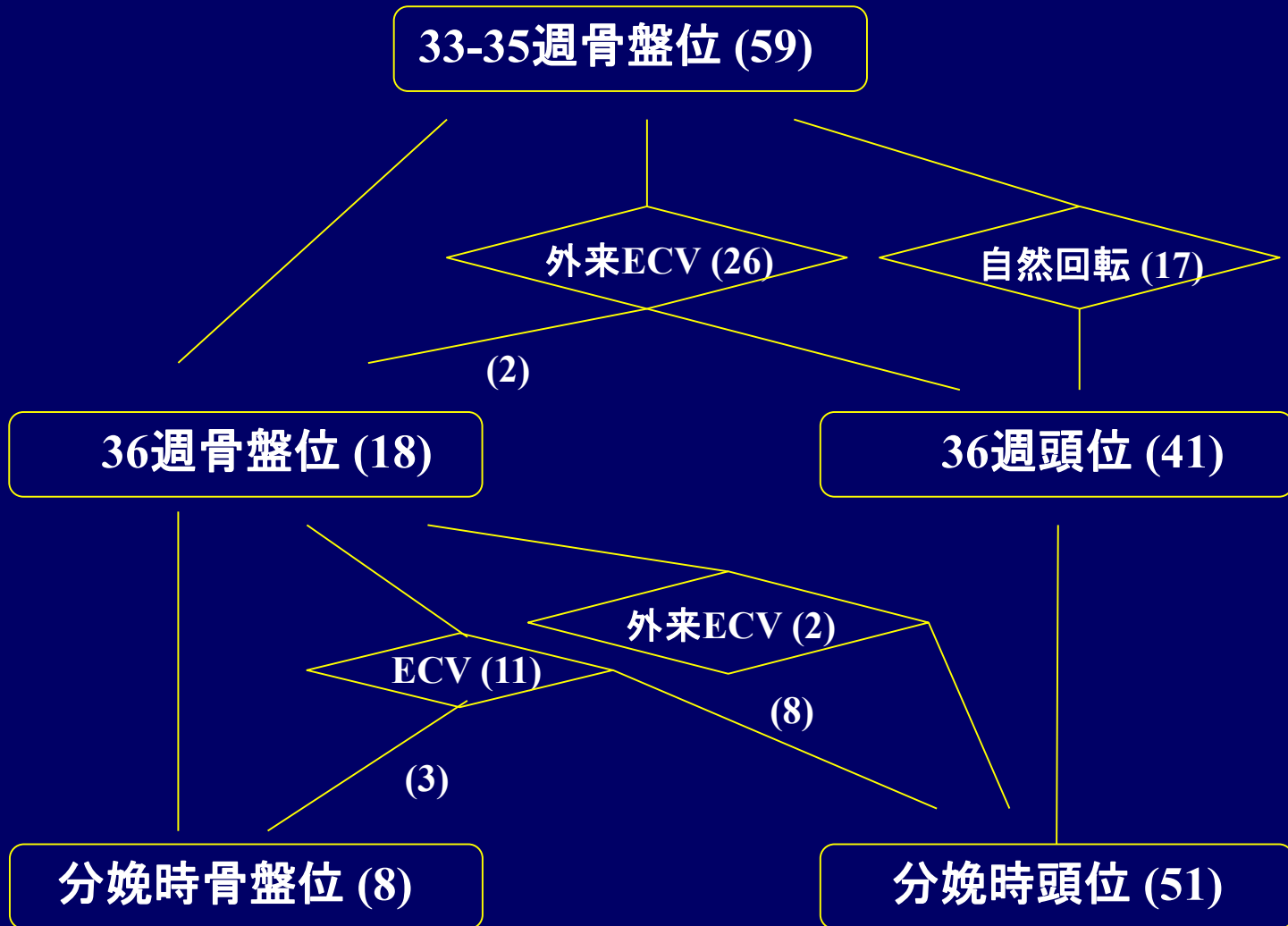
- 一回の試みで臀部が小骨盤腔から拳上できる
- 数分以内に横位まで修正できる
- 横位の時点で胎児徐脈がない
- 強く頭部を押し付けない
- 全ての操作を5分以上しない

患者背景

(33週から35週までの骨盤位)

	前半	後半
分娩総数	2221	1152
骨盤位	100 (4.5%)	59 (5.1%)
年齢	32.1 ± 3.8	33.6 ± 3.5
初産	52 (52%)	28 (47.5%)
経産	48 (48%)	31 (52.5%)
身長 (cm)	158.9 ± 5.0	157.6 ± 4.7
体重 (kg)	50.1 ± 5.8	49.8 ± 6.4

後半の成績



不必要な外回転ではなかったか

自然回転率の比較

前半

29/86 (33.7%)

後半

17/31 (51.5%)

自然回転するものをむりやり外回転したのであれば
自然回転率は減少するはずである

無意味な外回転ではなかった

外来ECV後、再び骨盤位になった率

2/26 (7.7%)

残った骨盤位は37週以降の
ECVが困難となるのでは

36週以降のECV成功率の比較

前半

後半

27/44 (61%)

8/11 (72%)

最終的な効果

前半

後半

36週での骨盤位

57/100 (57%)

18/59 (30.5%)

帝王切開率

30/100 (30%)

10/59 (16.9%)

36週未満の骨盤位外回転は 許容できるか？

有効性

安全性？

